



校長 齊木 邦彦

冬休みは年末年始と重なりますので、この休みの間、皆さんは、新しい年はあれをやりたい、このように過ごしたい、と様々に考えたことと思います。何かをやろうとする意欲には期待とともに不安も伴いますが、不安の中であっても結果を怖れず無心に頑張っていく、その積み重ねの過程こそが人生なのだと思います。12月の休業前集会で『人生はニャンとかなる!』という本を話題にしました。「ニャンとかなる」人生とは、どこかに余裕を持ちつつも、自分の力でひたすら努力し、真面目に生きていく姿勢を指して「ニャンとかなる」と表現しているのだと思います。実に奥の深い、いい言葉だと改めて思います。

3年生は西高卒業と大学入試が重なります。入試はどんな競争相手が集まるのか予測できず合否は運に左右される部分が大きいと思います。皆さんは遠回りのようですが、日常生活、残りわずかとなった高校生活の充実を第一に心がけてください。自分を信じて一日一日を努力してい

「がんばれ!西高生」「くじけるな!西高生」——

く、その先に運命としての結果が待っている、その運命を受け入れ、その時点ですでにどうするかと考える、そうするしかないと思います。

1,2年生の皆さんは高校生活が続きます。大学入試や将来のことなどを考えると、期待よりも不安ばかりが募ってしまいがちですが、きつとうまくいくと信じて目の前の一つ一つのことに正面から向き合ってください。

ある哲学者が述べています。時間は次々と過ぎ去り消えていくのではない、その中で起きた全ての出来事を含みつつ持続しているのが時間である。時間は直線上を進むイメージではなく、全てを飲み込んで膨張していくイメージで捉えられています。時間をそういうものだと考えると、皆さんのこれまでの十数年間の人生の時間は全て現在である、と見なすことも可能です。全ての出来事は、楽しいことも、悲しいことも、つらいことも、今の自分の中にそっくり保存されている。ただし自分自身は常に変化していますから、出来事の意味は振り返るその都度、変わっていきます。どんどん広がる新たな世界の中で、これまでの自分を絶えず見直していく姿勢は、決して後ろ向きの生き方ではない、と私は思います。そこに新たな自分の発見があるならば、それこそが本当の自分との出会いと言えるのではないのでしょうか。

(1月9日、新しい年を迎えるにあたっての校内放送より)

音楽発表会 12月23日

今年で13回目の開催となる音楽発表会。1年次の音楽選択者や音楽系大学を志望している2,3年生の発表による西高独自の行事です。吹奏楽部・音楽部・箏曲部の音楽系の部の演奏発表や三味線の独奏も披露されました。



大学入試センター試験 1月13,14日

大学入試本番!! 西高3年生が積み重ねた努力を発揮すべく、大学入試センター試験に挑みました。試験会場入口で担任の先生からの激励を受け、緊張感の中「チーム西高」のもと全員で進路実現への最終ステージに突入しました。

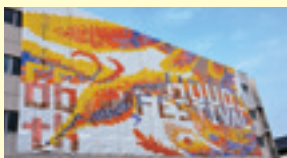


information

67th 鳳凰祭

2018年6月30日(土) 一般公開 9:30~14:00
会場 甲府西高等学校

西高最大のイベントです。ぜひ楽しんでください。



学校説明会

2018年7月22日(日) 13:00~
会場 コラニー文化ホール

入試情報や進路状況、西高ライフを紹介します。



オープンスクール

2018年9月1日(土) 9:00~12:10
会場 甲府西高等学校

体験授業や在校生との懇談会、部活動見学など西高のリアルを体験してください。



nstage
Kofu Nishi High School

山梨県立甲府西高等学校

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行日/2018.2 編集/広報委員会



*stage /steɪdʒ/

「立っている場所」が原義 — ㊦ (㊦) ~s/-ɪz / ㊦

1 舞台、ステージ(◆世界の象徴)

2 [活動の]舞台、場所[for, of]

3 (発達・発展などの)段階、時期

用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)

2 N-stage 西高生の活動舞台